

原子力機構 燃料研究棟汚染事故に係る対応（日報）

7月21日（金） 日報【実績】	内 容
現場復旧対応	<p>○108号室の安全確保のための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フード（H-1）の除染の準備を行いました。 ・燃料研究棟にて採取したスミヤろ紙等の核種分析を、照射燃料集合体試験施設（FMF）において継続中です。 <p>※ 作業内容の詳細は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ フード（H-1）の汚染検査・除染作業及び整理作業 https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/information/2017/072101.pdf ➤ 燃料研究棟にて採取したスミヤろ紙等の施設内搬入・核種分析作業 https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/information/2017/070604.pdf をご参照ください。 <p>・108号室全体を除染するための作業内容等を検討中です。</p>
原因究明対応	<p>○内容物の同定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵容器80個分の帳票類の履歴調査を継続中です。 ・貯蔵容器及び既に回収済の飛散物の外観を確認した結果を取りまとめています。 <p>○破裂メカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核燃料物質と混合したエポキシ樹脂の放射線（アルファ線）分解によるガス発生現象に関して、分解による樹脂の重量減少と密閉状態での内圧変化の測定を継続中です。
その他 （総点検・水平展開、 被ばく評価対応など）	<p>○原子力規制委員会に対し、法令報告（第2報）を提出いたしました。</p> <p>※ 報告内容の詳細は、 「大洗研究開発センター燃料研究棟における汚染について（第2報）」 https://www.jaea.go.jp/02/press2017/p17072102/ をご参照ください。</p>

	<ul style="list-style-type: none">○核燃料物質の貯蔵等に係る総点検<ul style="list-style-type: none">・各拠点における総点検（貯蔵中の核燃料物質の管理状況、貯蔵容器等の取扱い作業に関する管理状況の確認等）を実施中です（6/15～）。○被ばく評価（バイオアッセイ協力他）<ul style="list-style-type: none">・放射性物質の摂取に至った要因事象の調査を継続中です。○外部対応<ul style="list-style-type: none">・原子力規制庁と定例面談を行いました。・原子力規制委員会への法令報告（第2報）提出に関するプレス発表を行いました。
--	---